

津市雲出市民館改修工事

図面番号	図面名称
A — 1	改修工事特記仕様書1
A — 2	改修工事特記仕様書2
A — 3	改修工事特記仕様書3
A — 4	改修工事特記仕様書4
A — 5	改修工事特記仕様書5
A — 6	改修工事特記仕様書6
A — 7	配置図・付近見取図・仕上表・仮設計画図
A — 8	平面図・軒天井伏図
A — 9	立面図
A — 1 0	展開図
A — 1 1	屋根伏図
A — 1 2	断面詳細図・雑詳細図
A — 1 3	外構図

工 事 特 記 仕 様 書（改 修）

I. 工事名称

津市雲出市民館改修工事

II. 工事概要

1 工事場所

津市 雲出島真町 地内

2 敷地面積

402.15㎡

3 工事内容

様名称

津市雲出市民館

構造

鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）

建築面積

200.73㎡

延べ面積

197㎡

工事項目

防水改修、外壁改修、内装改修、塗装改修

III. 建築改修工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。

章

項 目

特 記 事 項

①

① 適用基準等

1）公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成28年版）
2）建築工事標準詳細図
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成28年版）

②

② 施工条件

施工方法及び検査に関する事項
※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。
※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。
※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。
※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。
※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。
※ 工事着手前には、現状状況把握の為に破損箇所等があれば、市監員立合いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。
※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
※ 工事車両駐車場などの位置については、現地にて監督員と協議すること。
※ 側溝、枳等は車両通行時に破損しないよう、鉄板敷きなどで養生すること。
※ 工事期間中は施設運営を行っているため、安全には十分注意すること。
※ 11月5日に文化祭が開催されるため、11月13日以降の現場着手とする。
※ 調理実習室の改修工事は、12月1日より行うこと。
※ フロン回収及び充填 当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（平成27年4月1日施行）等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。

③

③ 発生材の処理等
(1.3.12)

本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。
分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	○有 ・無	○手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○有 ・無	○手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他 (室外機基礎)	○有 ・無	○手作業 ・手作業、機械作業の併用

○ 引き渡しを要するもの

○ 無

（ ）

○ 特別管理産業廃棄物

○ 有（ジュラクサテン）

処理方法（剥離材併用手工具ケレン工法）

○ アスベスト成形板等解体時の留意点

1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。

2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。

3. 飛散されない様にする。

4. 保護具及び作業着を着用すること。

5. 解体されたボード等は、壺のある容器に入れること。

6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

・ 現場において再利用を図るもの（ ）
○ 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊
・ アスファルトコンクリート塊
・ 建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、票を提示すること。

4 建設副産物情報交換システムの利用

再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が1億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。
また、工事着手前にはJAIC10が運営する「建設副産物情報交換システム」ヘデータをを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

⑤ 三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

6 電気保安技術者
(1.3.3)

適用する

7 技能士
(1.6.2)

職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。

⑧ 施工数量調査
(1.5.2)

調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による

9 調査のための破壊部分の補修
(1.5.3)

補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）

①⑨ 建築材料等

1） 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
2） 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

1 1 化学物質の濃度測定
(1.6.9)

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校・教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）
測定方法（ ・ パッシブ法 ・ アクティブ法）
報告書提出部数 2部

1 2 特別な材料の工法

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

①③ 騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

①④ 工事写真

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁営繕部（平成28年版））に従い撮影する。
提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

①⑤ 完成図
(1.8.2)

○ 作成する（○ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ （ ））
○ 完成図作図範囲（設計図を訂正）
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用权は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。

①⑥ 完成写真

○ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。
（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

1 7 設備工事との取合い

施工範囲
・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
・ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ

施工図
・ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

①⑧ 既存部分等へ処理
(1.3.13)

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

①⑨ 事故報告

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

2 0 消防提出書類

1） 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
・本工事（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事） ・ 別途工事
2） 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

②① 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

②② 不正軽油の使用の禁止

1） 一般事項
市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2） 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3） 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

2 3 屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。

②

仮設工事

① 足場
(2.2.1)
(表2.2.1)

設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の手すり先行工法により行うこと。

内部足場の種別 ○ 脚立 ・ 足場板 ・ （ ）
外部足場の種別 ○ （ くさび緊結足場 ）
防護シート等による養生 ○ 適用する ・ 適用しない

② 既存部分の養生
(2.3.1)

既存部分の養生 ○ 図示（図面番号：A-7）
既存ブラインド・カーテンの養生
養生方法（ ）
保管場所 ・ 構内既存施設内
固定された備品、机、ロッカーの移動
○ 行う ・ 行わない

3 仮設間仕切り
(2.3.2)
(表2.3.1)

屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種
合板 厚さ ・ 9mm ・ （ ）
せつこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・ （ ）
合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない
仮設扉 設置箇所 ・ 図示（図面番号： ）
種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種

4 監督員事務所
(2.4.1)

・ 構内建物内の一部を使用する。
・ 設置する ・ 設置しない
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
監督員事務所の仕上げ					
部 位 等	仕 上 げ				
床	合板張り又はビニール床シート張り				
内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り				
屋根	装溶融亜鉛めっき銅板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り				

5 監督員事務所の備品等
(2.4.1) (b)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

⑥ 仮設便所

構内既存の施設
○ 利用できる ・ 利用できない

⑦ 工事用水

構内既存の施設
○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない

⑧ 工事用電力

構内既存の施設
○ 利用できる（ ・ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない
有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

⑨ 交通誘導準備員

配置 ○ 図示（大型車両両出入時）

アル テ ッ ク 設 計

一級建築士 第177266号

津 市 大 谷 町 2 3 3 番 地 TEL 059-225-1602

伊 藤 公 智

原図

A 2

津市雲出市民館改修工事

改修工事特記仕様書1

A - 1

S : non

3

防水改修工事

1

アスファルト防水

(3.1.4)

(3.3.3)

(表3.3.3)～
(表3.3.10)

改質アスファルトルーフィングシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

(3.3.2)

断熱工法の断熱材 (PIB1, P2AI, T1B1, POD1, M3D1, M4D1)

材質 ・ ()

・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種 b (スキンあり)

・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種 1号

・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種 2号

厚さ ・ ()

ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号 :)

(3.3.3) (b) (2)

(3.3.3) (C)

脱気装置 (M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1)

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号 :)、材質 ())

・ 設けない

・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()

(3.3.5)

保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ ()

床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ()

保護層 ・ 設ける ・ 設けない

屋上排水溝の適用 ・ 適用する

立上り保護 ・ 乾式保護材 ()

・ れんが (材種 ・ J I S R1250)

2

改質アスファルトシート防水

(3.4.2)

改質アスファルトシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

断熱工法の断熱材 (M3ASI, M4ASI, POASI)

材質、厚さ ()

図示 ・ ()

(3.4.3)

(表3.4.1)～
(表3.4.3)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2		

脱気装置

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号 :)、材質 ())

・ 設けない

③

合成高分子系
ルーフィング
シート防水

(3.5.2)

ルーフィングシート

種類 (・) 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ()

厚さ (・) 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ()

絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ()

断熱工法の断熱材 (POS1, S4S1, S3S1, M4S1)

材質、厚さ ()

・ 図示 ()

(3.5.3)

(表3.5.1)～
(表3.5.3)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
(・) S3S ・ S3S1	・ S-F1 (S1-F1) (・) S-F2 (S1-F2)	下屋根(増築部、倉庫部)立上り	
(・) S4S	(・) S-M2	下屋根(増築部、倉庫部)	

(3.5.3)

脱気装置

(・) 設ける (設置数量 (・) 図示)

・ 設けない

(3.5.4)

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合

目地処理 ・ 図示 (図面番号 :)

増張り ・ 図示 (図面番号 :)

保護層の施工 ・ 図示 (図面番号 :)

④

塗膜防水

(3.6.3)

(表3.6.1)

(3.6.3) (a)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・ POX (・) L4X	・ X-1 (・) X-2	大屋根軒樋、笠木、架台	

脱気装置

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号 :)、材質 ())

(・) 設けない

(3.6.3) (b)

工法	種別	施工箇所
・ PIY ・ P2Y	・ Y-2 ・	

保護層 ・ 図示 (図面番号 :)

(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない

(L4X) ・ 行う ・ 行わない

(3.2.6) (c) (2)

(3.2.6) (c) (6)

5

既存防水層表面の仕上塗装の除去

(3.2.6) (c) (2)

(3.2.6) (c) (6)

⑥	シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	材料	<table><tr><th>種類</th><th>材種</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ SR-1</td><td>シリコーン系</td><td></td></tr><tr><td>・ SR-2</td><td>シリコーン系</td><td></td></tr><tr><td>・ MS-2</td><td>変成シリコーン系</td><td>サッシ水切部、軒天(増築部)</td></tr><tr><td>・ PS-2</td><td>ポリサルファイド系</td><td></td></tr><tr><td>・ PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td></td></tr></table>	種類	材種	施工箇所	・ SR-1	シリコーン系		・ SR-2	シリコーン系		・ MS-2	変成シリコーン系	サッシ水切部、軒天(増築部)	・ PS-2	ポリサルファイド系		・ PU-2	ポリウレタン系	
	種類	材種	施工箇所																		
	・ SR-1	シリコーン系																			
	・ SR-2	シリコーン系																			
	・ MS-2	変成シリコーン系	サッシ水切部、軒天(増築部)																		
	・ PS-2	ポリサルファイド系																			
	・ PU-2	ポリウレタン系																			
	(3.7.4～7)	工法	・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ プリッジ工法 (ポンドブレーカー幅 mm、エッジング材幅 mm)																		
	(3.7.8)	シーリング材の試験	・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない																		
	⑦	とい (3.8.2) (表3.8.1)	材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (白管) ・ (																		

アル テ ッ ク 設 計

津 市 大 谷 町 2 3 3 番 地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊 藤 公 智

原図

A 2

津市雲出市民館改修工事

改修工事特記仕様書2

A - 2

S : non

(4)塗り仕上げ
(4.2.2)(j)
(表4.2.4(その1)
 (その2))

種 類

呼び名

仕上げ形状

工法

薄付け仕上塗材

・外装薄塗材E

・砂壁状
・ゆず肌状
・平たん状
・凹凸状
・ゆず肌状
・さざ波状
・着色骨材砂壁状

吹付け

こて

ローラー

吹付け
こて

厚付け仕上塗材

・外装厚塗材C

・放吹き
・凸部処理
・平たん状
・凹凸状
・ひき起し
・掻き落とし

吹付け

こて

厚層仕上塗材

・外装厚塗材Si
・外装厚塗材E

・放吹き
・凸部処理
・平たん状
・凹凸状
・ひき起し

吹付け

こて
ローラー

複層仕上塗材

・複層塗材E
・複層塗材RE
・防水形複層塗材E
・防水形複層塗材RE

・ゆず肌状
・凸部処理
・凹凸模様

吹付け

塗膜防水仕上塗材

・環境対応型水系 アクリルゴム系外壁用塗膜防水
・超速硬化ウレタン塗膜防水

ローラー塗り工法
(JISA6021)

・外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量 (kg/m²)

・マステック塗材塗り ・ A種 ・ B種
仕上材塗り ()

複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外 観
・アクリル系	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
	・水系	・艶有 ・艶無
・シリカ系	・水系	・艶無
	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
・ポリウレタン系	・水系	・艶有 ・艶無
	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
・アクリル シリコン系	・水系	・艶有 ・艶無
	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
○ふっ素系	・水系	・艶有 ・艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3)既存塗膜等の除去及び下地処理

工 法	処理範囲
・サンダー工法	
○高圧水洗工法	
・塗膜はく離削工法	
○水洗い工法	
・デッキブラシ	
・高圧ポンプ	

(4.6.4)下地調整
・C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()
ひび割れ処理 ・下地拳動緩衝材塗り

保証書の提出及び保証年限
○塗膜防水仕上塗材 10年保証
<保証書（請負人、材料製造所、施工者の連帯保証）は各2通提出する。
施工者は、材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける>

(4.7.2)(表4.7.1)(表4.2.5)

(4.7.2)(表4.2.5)

⑤保証

5建具改修工事

1改修工法
(5.1.3)

・かぶせ工法
・カバー工法 ・持出し工法 ・ノンシール工法

・撤去工法
・はつり工法 ・引抜き工法

2防火戸
(5.1.4)

・例示仕様 ・個別認定（認定番号： ）
・自動閉鎖機構 ・図示（図面番号： ）

3見本の製作
(5.1.5)

・製作する ・製作しない

4防犯建物部品
(5.1.7)

・図示（図面番号： ）

5ブラインドボックス等
(5.1.6)(c)

・再使用する ・再使用しない

6アルミニウム製建具
(5.2.2)(5.2.4)(表5.2.1)(表5.2.2)

性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種
・防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
・耐震ドアセット（等級 ）
・結露水の処理方法 ・図示（図面番号： ）

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別
・外部に面する建具
・B-1 ・ B-2 ・ ()
・内部に面する建具
・C-1 ・ C-2 ・ ()

7網戸
(5.2.3)(e)

・可動式 ・固定式
防虫網の材質
・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製
網目
・16メッシュ ・18メッシュ

性能等級等
・A種 ・B種 ・C種
・防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
ガラス ・複層ガラス ・ ()
建具枠見込寸法 ・図示（図面番号： ）
水切り ・図示（図面番号： ）
ぜん板 ・図示（図面番号： ）
丁番 ・改修標準仕様書(表5.7.3)による ・図示（図面番号： ）

8樹脂製建具
(5.3.2)～(5.3.5)(表5.3.1)～(表5.3.3)

鋼製建具の性能等級
・簡易気密性ドアセット
・外部に面する建具の耐風圧
・S-4 ・ S-5 ・ S-6
・防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
・耐震ドアセット（等級 ）
・めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ ()
JIS G 3317 ・ Y08 ・ ()
・HD2400又はW950の建具
銅板類の厚さ ・図示（図面番号： ）

鋼製軽量建具の性能等級
・簡易気密性ドアセット
・防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
・耐震ドアセット（等級 ）
・HD2400又はW950の建具
銅板類の厚さ ・図示（図面番号： ）

表面仕上げ
・塗装
・ビニル被覆銅板
・カラー銅板
・ステンレス銅板 (・ HL ・鏡面)

9鋼製建具
(5.4.2)

鋼製建具の性能等級
・簡易気密性ドアセット
・防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
・耐震ドアセット（等級 ）
・めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ ()
JIS G 3317 ・ Y08 ・ ()
・HD2400又はW950の建具
銅板類の厚さ ・図示（図面番号： ）

鋼製軽量建具の性能等級
・簡易気密性ドアセット
・防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
・耐震ドアセット（等級 ）
・HD2400又はW950の建具
銅板類の厚さ ・図示（図面番号： ）

表面仕上げ
・塗装
・ビニル被覆銅板
・カラー銅板
・ステンレス銅板 (・ HL ・鏡面)

(5.4.3)

ステンレス製建具
(5.6.2)(5.4.2)

ステンレス製建具の性能等級
・簡易気密性ドアセット
・外部に面する建具の耐風圧
・S-4 ・ S-5 ・ S-6
・防音ドアセット、防音サッシ（等級 ）
・断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ）
・耐震ドアセット（等級 ）

材料 ・ SUS304 ・ ()

表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()

曲げ加工 ・普通曲げ ・角出し曲げ

12建具用金物
(5.7.2)

金物の見え掛かり部等の材質等
・改修標準仕様書(表5.7.1)による
・図示（図面番号： ）

マスターキー ・製作する ・製作しない
引渡用鍵箱 ・必要 ・不要

開閉装置の性能値
・図示（図面番号： ）

センサーの種類
・図示（図面番号： ）

凍結防止措置 ・あり ・なし

13自動ドア開閉装置
(5.8.2)

開閉装置の性能値
・図示（図面番号： ）

センサーの種類
・図示（図面番号： ）

凍結防止措置 ・あり ・なし

自閉式上吊り引戸装置
(5.9.3)

自閉式上吊り引戸装置の性能値
・改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ()

15重量シャッター
(5.10.2)

種類
・一般重量シャッター ・外壁用火シャッター
・屋内用火シャッター ・防煙シャッター

耐風圧強度 (Pa以上)

開閉機能
・上部電動式（手動併用） ・上部手動式

一般重量シャッターのシャッターケース
・設ける ・設けない
・めっき付着量 ・Z12 ・F12 ・ ()

(5.10.2)(c)(表5.10.1)

(5.10.2)(f)(5.10.3)

16軽量シャッター
(5.11.2)(表5.11.1)(5.11.4)

開閉形式
・上部電動式（手動併用） ・手動式

耐風圧強度 (Pa以上)

スラットの材質及び形状
・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
・めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ()
JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()

17オーバーヘッドドア
(5.12.2)

型式及び機構
セクション材料
・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ

耐風圧強度 (Pa以上)

開閉方式
・バランス式 ・チェーン式 ・電動式

収納形式
・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形

ガイドレール
・溶融亜鉛めっき銅板 ・ステンレス銅板

・図示（図面番号： ）

・図示（図面番号： ）

・シーリング ・ガasket ()

・図示（図面番号： ）
・改修標準仕様書（表5.13.1）による

ガラスブロック積み
(5.13.5)

ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ ・図示（図面番号： ）
金属棒、補強材 ・図示（図面番号： ）
化粧カバー ・図示（図面番号： ）
工法 ・図示（図面番号： ）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

⑥内装改修工事

1一般事項
(6.1.3)(b)

既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲
改修部分 改 修 範 囲
・天井 ・図示（図面番号： ）
・壁 ・図示（図面番号： ）
・床 ・図示（図面番号： ）

(6.1.3)(c)

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
・図示（図面番号： ） ・ ()

(6.1.3)(f)

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
・図示（図面番号： ） ・ ()

②既存床撤去、下地補修
(6.2.2)(a)(1)

既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
・行う ○行わない

(6.2.2)(a)(2)

6	(6.5.2)(c)(ii)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質・図示（図面番号：） 含水率・15%以下・（）																																			
	(6.5.2)(d)(i)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 <table><tr><th>部位</th><th>厚さ</th><th>表面の品質</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>造作用単板積層材</td><td>・図示（図面番号：）</td><td>・（）</td><td>・（）</td></tr></table>	部位	厚さ	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・図示（図面番号：）	・（）	・（）																											
	部位	厚さ	表面の品質	防虫処理																																	
	造作用単板積層材	・図示（図面番号：）	・（）	・（）																																	
	(6.5.2)(d)(ii)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ、表面の品質、防虫処理・図示（図面番号：） 含水率・14%以下・（）																																			
	(6.5.2)(e)	・床張り用合板等 <table><tr><th>部材名称</th><th>樹種名</th><th>接着の程度</th><th>等級</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理等</th><th>厚さ</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																												
	部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																														
(6.5.5)(a)	・防腐、防蟻処理 適用部位図示（図面番号：） 保存処理性能区分（） 薬剤の塗布等の処理方法（） ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（）																																				
(6.5.5)(b)	・防虫処理 ・図示（図面番号：）																																				
⑤軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	野縁等の種類 ・屋内・19形・（） ・屋外・25形・（） 形式及び寸法 ・屋外・図示（図面番号：） ・耐震天井・図示（図面番号：） ・ふところ≧1.5m・改修標準仕様書(6.6.4)(h)・図示（図面番号：） ・ふところ>3m・図示（図面番号：）																																				
(6.6.4)	既存埋込みインサート ・使用する・使用しない 既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験 ・行う（図示（図面番号：））・行わない 耐震天井 ・図示（図面番号：）																																				
6軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	スタッド、ランナー等の種類 ・図示（図面番号：）																																				
⑦ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2)(a)	材料 ・ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】 <table><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td>・F S</td><td>無地</td><td>2.0mm</td><td></td></tr><tr><td>・F S</td><td>無地</td><td>2.5mm</td><td></td></tr></table>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	・F S	無地	2.0mm		・F S	無地	2.5mm																									
種類の記号	色柄	厚さ	備考																																		
・F S	無地	2.0mm																																			
・F S	無地	2.5mm																																			
(6.8.2)(b)	・ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】 <table><tr><th>種類の記号</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td>半硬質ビニル床タイル</td><td>2.0mm</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類の記号	厚さ	備考	半硬質ビニル床タイル	2.0mm																															
種類の記号	厚さ	備考																																			
半硬質ビニル床タイル	2.0mm																																				
(6.8.2)(c)(1)	・帯電防止床シート又は床タイル <table><tr><th>種類</th><th>性能</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	性能	厚さ	備考																																
種類	性能	厚さ	備考																																		
(6.8.2)(c)(2)	・視覚障害者用床タイル <table><tr><th>種類</th><th>形状</th><th>備考</th></tr><tr><td>ビニル床タイル</td><td>300×300×7.0mm</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	形状	備考	ビニル床タイル	300×300×7.0mm																															
種類	形状	備考																																			
ビニル床タイル	300×300×7.0mm																																				
(6.8.2)(c)(3)	・耐動荷重性床シート <table><tr><th>種類</th><th>性能</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	性能	厚さ	備考																																
種類	性能	厚さ	備考																																		
(6.8.2)(c)(4)	・防滑性床シート又は床タイル <table><tr><th>種類</th><th>性能</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	性能	厚さ	備考																																
種類	性能	厚さ	備考																																		
(6.8.2)(e)	・ゴム床タイル <table><tr><th>種類</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	厚さ	備考																																	
種類	厚さ	備考																																			
(6.8.3)(a)	工法 下地・モルタル下地・木下地・その他（）																																				
(6.8.3)(b)	ビニル床シート張り 熱溶接工法・適用する・適用しない																																				

8	カーペット敷き (6.9.3)(a) (表6.9.1)	・ 織じゅうたん																	
		<table> <tr> <th>種別</th><th>バイルの形状</th><th>帯電性</th><th>品質の程度</th></tr> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td>・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用</td><td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()</td><td>・ ()</td></tr> </table>	種別	バイルの形状	帯電性	品質の程度	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()	・ ()									
種別	バイルの形状	帯電性	品質の程度																
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()	・ ()																
	品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)																		
(6.9.3)(b) (表6.9.2)	・ タフテッドカーペット																		
	<table> <tr> <th>バイルの形状</th><th>バイル長(mm)</th><th>帯電性</th><th>工法</th><th>品質の程度</th></tr> <tr> <td>・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用</td><td></td><td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()</td><td>・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法</td><td>・ ()</td></tr> </table>	バイルの形状	バイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ()								
バイルの形状	バイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度															
・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ()															
(6.9.3)(c)	・ ニードルパンチカーペット																		
	<table> <tr> <th>厚さ(mm)</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()</td><td></td></tr> </table>	厚さ(mm)	帯電性	備考		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()													
厚さ(mm)	帯電性	備考																	
	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()																		
(6.9.3)(d) (表6.9.2)	・ タイルカーペット																		
	<table> <tr> <th>種類</th><th>バイルの形状</th><th>寸法(mm)</th><th>総厚さ(mm)</th><th>品質の程度</th></tr> <tr> <td></td><td>・ カットバイル ・ ループバイル</td><td>・ 500×500 ・ ()</td><td>・ 6.5 ・ ()</td><td>・ ()</td></tr> </table>	種類	バイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットバイル ・ ループバイル	・ 500×500 ・ ()	・ 6.5 ・ ()	・ ()								
種類	バイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度															
	・ カットバイル ・ ループバイル	・ 500×500 ・ ()	・ 6.5 ・ ()	・ ()															
(6.9.3)(e)	下敷き材	・ 第2種第2号、厚さ8mm	・ ()																
(6.9.3)(f)	見切り、押え金物	・ 適用する(材質、種類及び形状	・ 図示(図面番号:	))															
9	(6.10.3)(b)(1) (表6.10.4)	敷き方	<table> <tr> <td>平場</td><td>・ 市松敷き</td><td>・ 模様流し</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td>階段部分</td><td>・ 市松敷き</td><td>・ 模様流し</td><td>・ ()</td></tr> </table>	平場	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()	階段部分	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()								
平場	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()																
階段部分	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()																
弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																			
(6.10.3)(b)(2) (6.10.3)(c) (表6.10.5)～ (表6.10.8)	エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類	・ 薄膜流し展べ仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流し展べ仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ(・ 平滑)																	
10 フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2)	・ 釘留め工法 <table> <tr> <th>材料</th><th>種別</th><th>樹種</th></tr> <tr> <td>・ フローリングボード (根張張用)</td><td></td><td rowspan="3">・ なら ・ ()</td></tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根張張用)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr> </table> 防湿処理 ・ 図示(図面番号:)	材料	種別	樹種	・ フローリングボード (根張張用)		・ なら ・ ()	・ 複合フローリング (根張張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種										
材料	種別	樹種																	
・ フローリングボード (根張張用)		・ なら ・ ()																	
・ 複合フローリング (根張張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種																		
・ 接着工法 <table> <tr> <th>材種</th><th>樹種</th><th>厚さ</th><th>大きさ</th></tr> <tr> <td>・ フローリングボード(直張用)</td><td rowspan="5">・ なら ・ ()</td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5"></td></tr> <tr> <td>・ フローリングブロック(直張用)</td></tr> <tr> <td>・ 複合1種フローリング (直張用)</td></tr> <tr> <td>・ 複合2種フローリング (直張用)</td></tr> <tr> <td>・ 複合3種フローリング (直張用)</td></tr> <tr> <td>・ モザイクパーケット(直張用)</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr> </table> 緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示(図面番号:)	材種		樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード(直張用)	・ なら ・ ()			・ フローリングブロック(直張用)	・ 複合1種フローリング (直張用)	・ 複合2種フローリング (直張用)	・ 複合3種フローリング (直張用)	・ モザイクパーケット(直張用)	・ ()	・ ()	・ ()		
材種	樹種	厚さ	大きさ																
・ フローリングボード(直張用)	・ なら ・ ()																		
・ フローリングブロック(直張用)																			
・ 複合1種フローリング (直張用)																			
・ 複合2種フローリング (直張用)																			
・ 複合3種フローリング (直張用)																			
・ モザイクパーケット(直張用)	・ ()	・ ()	・ ()																
(6.11.6)(2)	塗装	・ ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り ・ ()																	
11	畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	種別	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種																
	12 セっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)	材種	種別	厚さ(mm)															
				壁	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)														
		・ セっこうボード		天井	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)														
		・ 化粧セっこうボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(準不燃)															
			・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)															
		・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9															
			・ 立体模様																
		・ けい酸カルシウム板	・ タイプⅡ0.8FK																
	(6.13.2)(h)	遮音シール材																	
		・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド																	
	(6.13.3)(e)(3)	合板類の張付け																	
		・ A種 ・ B種																	
	(6.13.3)(g)(1) (表6.13.5)	セっこうボードの目地工法																	
		・ 縦目処理 ・ 突付け ・ 目透し																	
	13 壁紙張り (6.14.2)	施工箇所	品質	防火性能															
				・ 不燃 ・ 準不燃															
				・ 不燃 ・ 準不燃															
				・ 不燃 ・ 準不燃															

14モルタル塗り (6.15.3)	既製目地材 ・ 使用する (形状 :) 床の目地 ・ 図示 (図面番号 :)										
	15タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示 (図面番号 :)									
		タイルの種類									
		施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分 Ⅰ類(磁器)Ⅱ類(せっ器)Ⅲ類(陶器)			役物	標準・特注色
	(6.16.3)(b)(1)										
	16セルフレベルニング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ せっこう系 ・ セメント系 塗厚 () mm									
	17断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法 種類 ・ A種 ・ B種									
種類		種別		厚さ (mm)		施工箇所					
(9.5.3)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム										
	・ 押出法ポリスチレンフォーム										
	・ A種硬質ウレタンフォーム										
	・ フェノールフォーム										
	断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム)										
	種類		厚さ [mm]		施工箇所						
	・ A種1				・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所						
	・ A種2		・ ()		・ ()						
⑧塗り仕上げ	種 類		呼び名		仕上げ形状		工法				
	薄付け仕上げ塗材		・ 内装薄塗材 E		・ 砂壁状じゅらく		・ 吹付け				

7塗装改修工事	1材料 (7.1.3)(b)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。 (箇所 :)				
		既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてRＢ種の場合) ① 図示				
	②下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1) ~ (表7.2.7)	種別				
		下地		種別		ひび割れ部の補修
	・ 木部		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種			
	・ 鉄鋼面、金属屋根		・ RA種 (・) RB種 ・ RC種			
	・ 亜鉛めっき鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種			
	・ モルタル、プラスター面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ 行う	
	・ コンクリート、ＡＬＣパネル面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ 行う	
	・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ 行う	
・ せっこうボード、その他ボード面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種				
3錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3) ~ (表7.3.4)	錆止め塗料種別 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種					
	錆止めの塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種					
4合成樹脂調合ベイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1) ~ (表7.4.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ () 種別					
	下地		種別			
	・ 木部		・ A種 ・ B種 ・ C種			
	・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種			
	・ 亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種			
5クリヤラッカー塗り(OL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種					
6アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ・ B種					
⑦耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2) ~ (7.8.4) (表7.8.1) ~ (表7.8.3)	上塗り等級 (・) 1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (ポリウレタン系)					
	下地		種別			
	鉄鋼面		・ A種 (・) B種 ・ C種			
	亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種			
	コンクリート面及び 押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種			

8

つや有合成樹脂
エマルションペ
イント塗り
(EP-G)
(7.9.2)～(7.9.5)
(表7.9.1)～
(表7.9.4)

9

合成樹脂エマ
ルションペイン
ト塗り(EP)
(7.10.2)
(表7.10.1)

10

合成樹脂エマ
ルション模様塗
料塗り(EP-T)
(7.11.2)
(表7.11.1)

11

ウレタン樹脂
ワニス塗り(UC)
(7.12.2)
(表7.12.1)

12

ラッカーエナ
メル塗り(LE)
(7.13.2)
(表7.13.1)

13

木造保護塗料
塗り(WP)
(7.15.2)
(表7.15.1)

種別

下地	種別
コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 しみ止め ()
木部 (屋内)	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種
鉄鋼面 (屋内)	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種
垂れめつき鋼面 (屋内)	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種

種別

・ A 種 ・ B 種 ・ C 種

しみ止め ()

種別

・ A 種 ・ B 種 ・ C 種

種別

・ A 種 ・ B 種

種別

・ A 種 ・ B 種

8
の
1

耐震改修工事
共通事項

(一般事項)

1 適用範囲

(8.1.1)
(8.1.2)

工事内容

- 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
- 鉄骨プレースの設置工事
- 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)
- 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)
- 柱補強工事 (連続繊維補強工法)
- 耐震スリット新設工事
- 免震改修・制震改修工事

工事種別

- 鉄筋工事
- あと施工アンカー工事
- コンクリート工事
- 鉄骨工事
- グラウト工事
- 連続繊維補強工事
- スリット新設工事
- 免震改修・制震改修工事
- 基礎工事

8
の
2

耐震改修工事
撤去工事

1 既存部分の撤去等

(8.21.2)

撤去の範囲

- 図示 (図面番号 :)
- 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分
- 既存コンクリート撤去範囲に面する部分
- ()

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置

本工事の範囲

- 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分
- 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。
- ()

撤去範囲

・ 図示 (図面番号 :)

2 既存構造体の撤去

(8.21.2)
(8.22.2)
(8.23.2)
(8.24.2)

既存構造体の撤去

撤去範囲

- 図示 (図面番号 :)

はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断

鉄筋の切断	範囲	適用
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示 (図面番号 :) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし	
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示 (図面番号 :) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし	
・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()	

はつりだした鉄筋の処置

- 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。
- ()

はつりだした鉄骨の処置

- コンクリート等を除去し鉄面を表す。
- ()

(既存部分の処理)

3 既存構造体コンクリートの表層目荒らし

(8.21.3)
(8.22.3)
(8.23.3)

既存構造体コンクリート面の表層目荒らし

目荒らし程度

- 平均深さ5～10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す
- 図示 (図面番号 :)

8
の
3

耐
震
改
修
工
事

鉄
筋
工
事

1鉄筋
(8.2.1)
(表8.2.1)

2溶接金網
(8.2.2)

3加工
(8.3.2)

4鉄筋の継手及び
定着
(8.3.4)

5鉄筋のかぶり厚
さ及び間隔
(8.3.5)

6各部配筋

7ガス圧接
(8.3.8)

(現場打ち鉄筋コン
クリート壁の増設工事
及び鉄骨ブレースの
設置工事等)

8割製補強筋
(8.21.6)
(8.22.7)

9鉄筋の機械式継
手及び溶接継手
(8.4.2)
(8.4.3)

材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による

種別	径(mm)
・SD295A	
・SD345	
・SD390	
・()	

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)

90°未満の折曲げの内法直径

図示(図面番号:)

	径	部位
重ね継手	・D16以下	
ガス圧接	・D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ

・改修標準仕様書(8.3.4)(c)(1)による

・図示(図面番号:)

継手位置

・各部配筋参考図による

・図示(図面番号:)

先組み工法等

・柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ

・改修標準仕様書(表8.3.4)による

・図示(図面番号:)

帯筋組立の形

・図示(図面番号:)

軽量コンクリートで土に接する部分

・無し

・有り適用箇所()

最小かぶり厚さ()mm

耐久性上不利な部分(塩害を受けるおそれのある部分等)

・無し

・有り適用箇所()

最小かぶり厚さ()mm

・図示(図面番号:)

圧接完了後の試験

超音波探傷試験

・行う

・行わない

割製補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・スライラル筋	・鉄筋コンクリート用 棒鋼	・R235	・6Φ () ・9Φ () ・()	スライラルの径(mm) () スライラルのピッチ(mm) ()	・図示 (図面番号:)
・はしご筋	・鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋)	・295A	・10 () ・()	壁内方向筋 () 壁面外方向筋 ()	

・機械式継手

種類()

工法()

修正方法()

品質の確認方法()

鉄筋相互のあき()mm

・溶接継手

工法()

修正方法()

品質の確認方法()

鉄筋相互のあき()mm

8
の
4

耐
震
改
修
工
事

コ
ン
ク
リ
ー
ト
工
事

1コンクリートの
種類及び強度
(8.1.3)
(8.1.4)

(8.9.1)
(8.9.2)
(表8.9.1)

(コンクリート)
3コンクリートの
材料
(8.2.5)
(表8.2.3)

コンクリートの種類

・Ⅰ類

・Ⅱ類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位 容積質量	スランプ
・21	土間		SL-18
・()			

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	種別	適用範囲	気乾単位 容積質量	所要気乾単位 容積質量	スランプ
・36	・Ⅰ類 ・Ⅱ類				
・()					

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類

・A種

・B種

・C種

セメントの種類

・普通ポルトランドセメント

・()

・高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種

適用箇所()

		骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ・ A L (コンクリート中のアルカリ総量を規制) ・ A (安全と認められる骨材を使用) なお、A Lで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回／6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。 ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 鋼スラグ細骨材 ・ 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 再生骨材H																					
4	混和材料 (8.2.5)	・ 混和剤 混和剤の種類 ・ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(1)による ・ 図示(図面番号：) ・ 混和材 混和材の種類 ・ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(2)による ・ 図示(図面番号：)																					
5	調合管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)	構造体強度補正値 (S) ・ 3N/mm2 ・ 6N/mm2 ・ ()																					
6	型枠 (8.2.7) (8.7.8)	材料 ・ 複合合板(厚さ ・ 12mm ・ ()) スリーブ ・ 改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(i)による ・ 改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(ii)による ・ 材種 () 規格 ()																					
7	量中コンクリート (8.10.2)	構造体強度補正値 (S) ・ 6N/mm2 ・ ()																					
8	無筋コンクリート (8.11.1)	構造体強度補正値 (S) ・ 18N/mm2 ・ () スランプ ・ 15cm ・ 18cm ・ ()																					
(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)																							
9	コンクリートの打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)	部位別のコンクリートの打設工法の指定 <table> <tr> <th>補強工法</th><th>打設工法</th><th>部位</th></tr> <tr> <td rowspan="4">現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</td><td>・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)及び(b)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()</td></tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()</td></tr> <tr> <td>・ 工法指定なし</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()</td></tr> <tr> <td>・ ()</td><td>・ 図示(図面番号：) ・ ()</td></tr> <tr> <td rowspan="4">鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td><td>・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()</td></tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()</td></tr> <tr> <td>・ 工法指定なし</td><td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()</td></tr> <tr> <td>・ ()</td><td>・ 図示(図面番号：) ・ ()</td></tr> </table>	補強工法	打設工法	部位	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()	・ ()	・ 図示(図面番号：) ・ ()	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()	・ ()	・ 図示(図面番号：) ・ ()
補強工法	打設工法	部位																					
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()																					
	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()																					
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()																					
	・ ()	・ 図示(図面番号：) ・ ()																					
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()																					
	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()																					
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号：) ・ ()																					
	・ ()	・ 図示(図面番号：) ・ ()																					
(8.23.6)	柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む ・ () 柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示(図面番号：) 打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ ・ 図示(図面番号：) ・ 60mm ・ ()																						
10	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	・ 図示(図面番号：)																					

①アスベスト含有材の処理工事
(9.1.1)

施工調査

・アスベスト含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。

調査範囲・図示（図面番号：）・（）

貸与資料（）

・分析によるアスベスト含有建材の調査

分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

分析方法
・JIS A 1481-1（建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部：市販バク材からの試料採取及び定性的判定方法）による
・JIS A 1481-2（建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法）による
・JIS A 1481-3（建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部：アスベスト含有率のX線回折定量分析方法）による

材料名	定性分析	定量分析
	・箇所数（）	・箇所数（）
	・箇所数（）	・箇所数（）
	・箇所数（）	・箇所数（）
	・箇所数（）	・箇所数（）

サンプル数1箇所あたり3サンプル
採取箇所・図示（図面番号：）・（）

・アスベスト粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	計点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計点
・	測定 4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計点
・	測定 5		処理作業室外（敷地境界）	計点
・	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点
・	測定 7	処理作業後シート撤去後 1 週間	処理作業室内	計点
・	測定 8		調査対象室外部の付近	計点

測定方法

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量 (L/min)	・1・（）	・5・（）	・10・（）
試料の吸引時間 (min)	・5・（）	・120・（）	・240・（）

(9.1.3)

アスベスト含有建材の処理

・アスベスト含有吹付け材の除去

除去対象範囲・図示

除去工法・剥離剤併用手工具ケレン工法による

除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止

・密封処理・湿潤化・セメント固化

除去したアスベスト含有吹付け材等の処分

・埋立処分（管理型最終処分場）・中間処理（溶融施設）

(9.1.4)

・アスベスト含有保温材の除去

除去対象範囲・図示（図面番号：）・（）

除去したアスベスト含有保温材の処分

・埋立処分（管理型最終処分場）・中間処理（溶融施設）

(9.1.5)

・アスベスト含有成形板の除去

除去対象範囲・図示（図面番号：）・（）

・アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板

・埋立処分（管理型最終処分場）・中間処理（溶融施設）

2断熱アスファルト防水改修工事
(9.2.1)～(9.2.3)

改修特記仕様書 3章による

3外断熱改修工事
(9.3.2)

断熱材

種類	厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	
・フェノールフォーム断熱材	
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	
・押出法ポリスチレンフォーム保温材（スキンなし）	・保温板（2種b） ・保温板（3種b）
・A種硬質ウレタンフォーム保温材	
・フェノールフォーム保温材（3種2号を除く）	
・ロックウール	
・グラスウール	

施工箇所・図示（図面番号：）・（）

ホルムアルデヒド放散量

・規制対象外・（）

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3)

既存外壁の措置

既存外壁仕上げ材の撤去・あり・なし

下地面の清掃・行う・行わない

欠損部の改修工法・改修標準仕様書(4.1.4)による・（）

(9.3.4)

工法

通気層の有無・あり（mm）・なし

断熱材の施工・断熱材製造所の仕様による・（）

外装材の施工・外装材製造所の仕様による・（）

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法）

・適用しない

断熱材のホルムアルデヒド放散量・規制対象外・（）

・断熱材打込み工法

種類	厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	
・フェノールフォーム断熱材	
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	
・押出法ポリスチレンフォーム保温材（スキンなし）	・保温板（2種b） ・保温板（3種b）
・A種硬質ウレタンフォーム保温材	
・フェノールフォーム保温材（3種2号を除く）	

施工箇所・図示（図面番号：）・（）

(9.5.3)

・断熱材現場発泡工法

断熱材の種類・A種1・B種1

厚さ（mm）・25・30・（）

施工箇所・図示（図面番号：）

・現場発泡断熱材（品質・性能）

工事建築材料等品質性能表による（試験方法）

工事建築材料等品質性能表による

(9.5.4)

断熱材のホルムアルデヒド放散量・規制対象外・（）

・断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ [mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・有	・無
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・有	・無
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・有	・無
・フェノールフォーム断熱材	・有	・無
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・有	・無
・押出法ポリスチレンフォーム保温材	・有	・無
・硬質ウレタンフォーム保温材	・有	・無
・フェノールフォーム保温材	・有	・無

施工箇所・図示（図面番号：）・（）

5屋上緑化改修工事
(9.6.1)(9.6.2)

植栽基盤及び材料

屋上緑化軽量システム

・適用する・適用しない

芝及び地被類の樹種並びに種類等・図示（図面番号：）・（）

見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等・図示（図面番号：）・（）

(9.6.3)

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）

・適用しない

かん水装置・設置する（種類・）

既存保護層の撤去・行う・行わない

6透水性アスファルト舗装改修工事
(9.7.2)～(9.7.7)(9.7.9)

既存舗装の撤去及び再利用

・図示（図面番号：）・（）

路床

種別	材料	厚さ[mm]
・盛土	・A種・B種・C種・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示（図面番号：） ・（）
・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（7μmふるい通過量10%以下） ・（）	・図示（図面番号：） ・（）
・フィルター層	・砂 ・（）	・図示（図面番号：） ・（）

路床安定処理

・添加材料による安定処理

種類・普通ポルトランドセメント・フライアッシュセメントB種

・生石灰（・特号・1号）・消石灰（・特号・1号）

添加量（kg/m2）（目標CBR・5以上・）

・ジオテキスタイル

単位面積質量・60g/m2以上・（）

厚さ[mm]・0.5～1.0・（）

引張強さ・98N/5cm（10kgf/5cm）以上・（）

透水係数・1.5×10⁻³～1cm/sec以上・（）

試験

路床土の支持力比（CBR）試験・行う・行わない

路床締固め度の試験・行う・行わない

路盤

路盤の構成及び厚さ・図示（図面番号：）・（）

路盤材料・再生材のクラッシャーラン
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ
・図示（図面番号：）
・（）

試験

路盤締固め度の試験・行う・行わない

舗装

材料	厚さ[mm]
ストレートアスファルト	・図示（図面番号：） ・（）

試験

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験・行う・行わない

舗装の平坦天性・著しい不陸がないもの・（）

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

原図

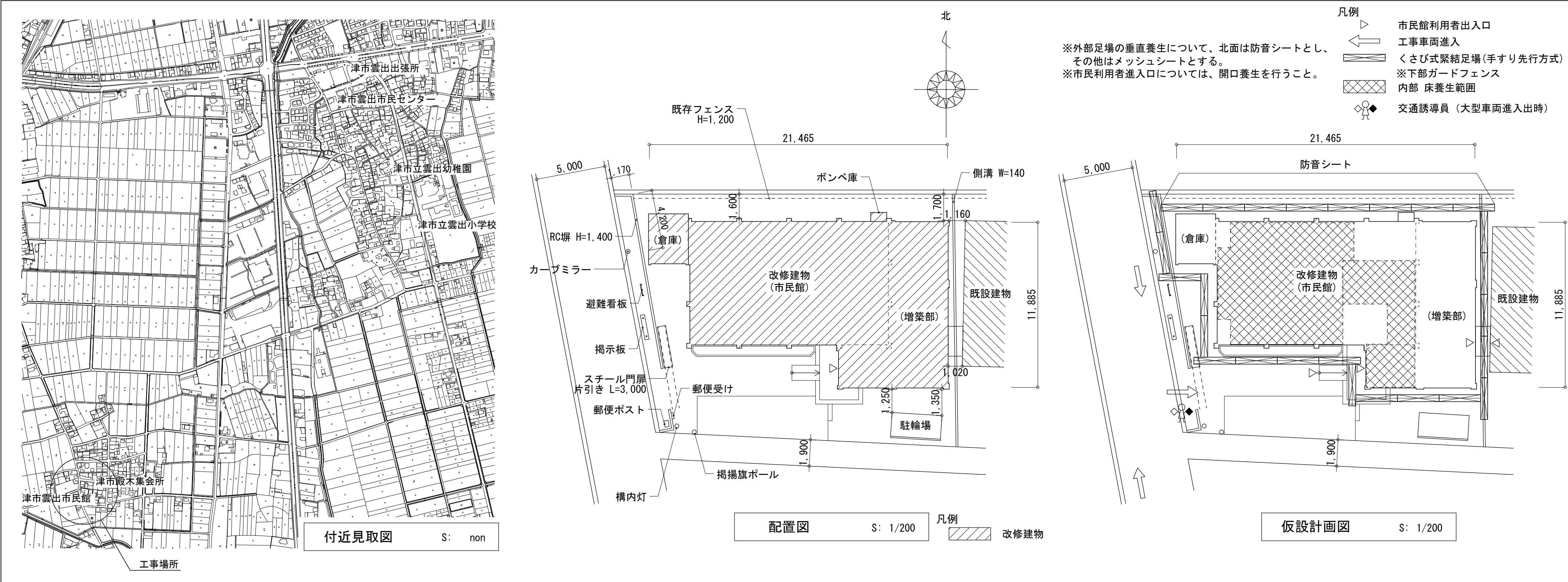
A 2

津市雲出市民館改修工事

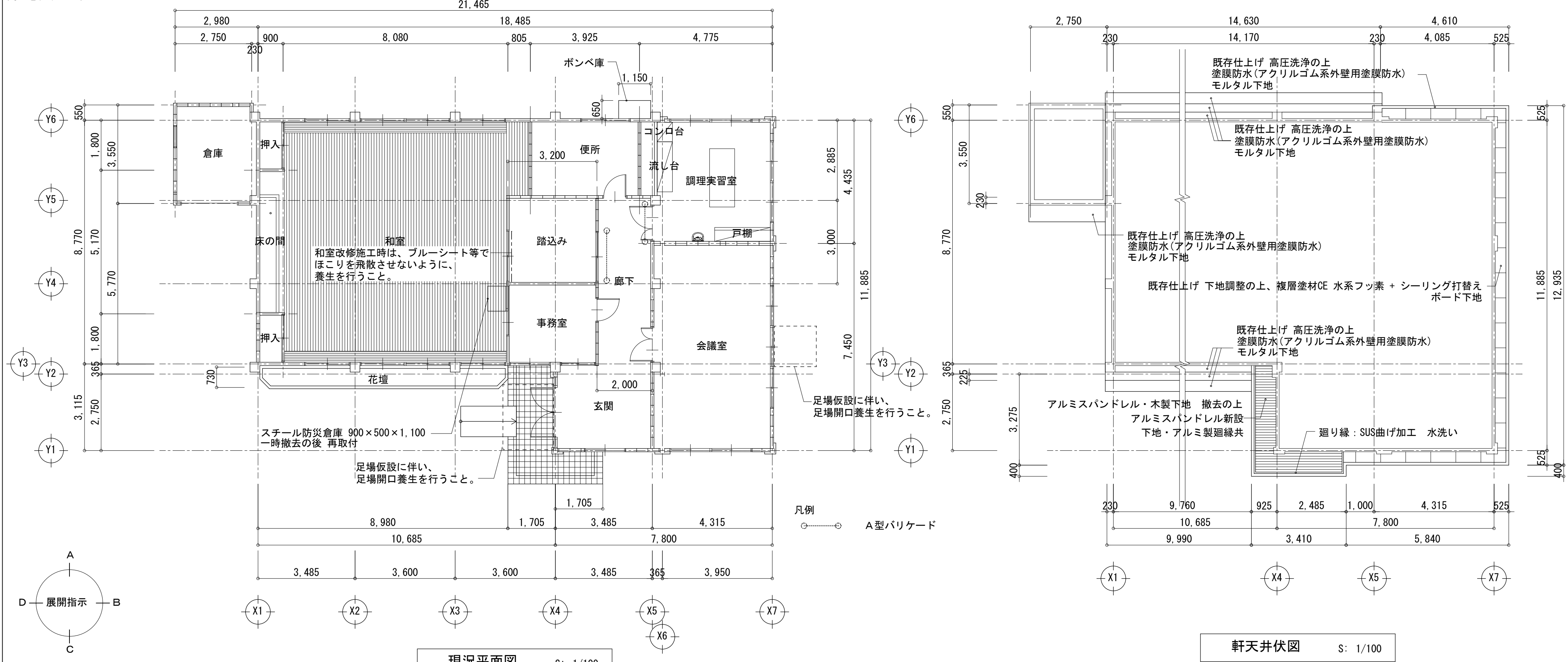
改修工事特記仕様書5

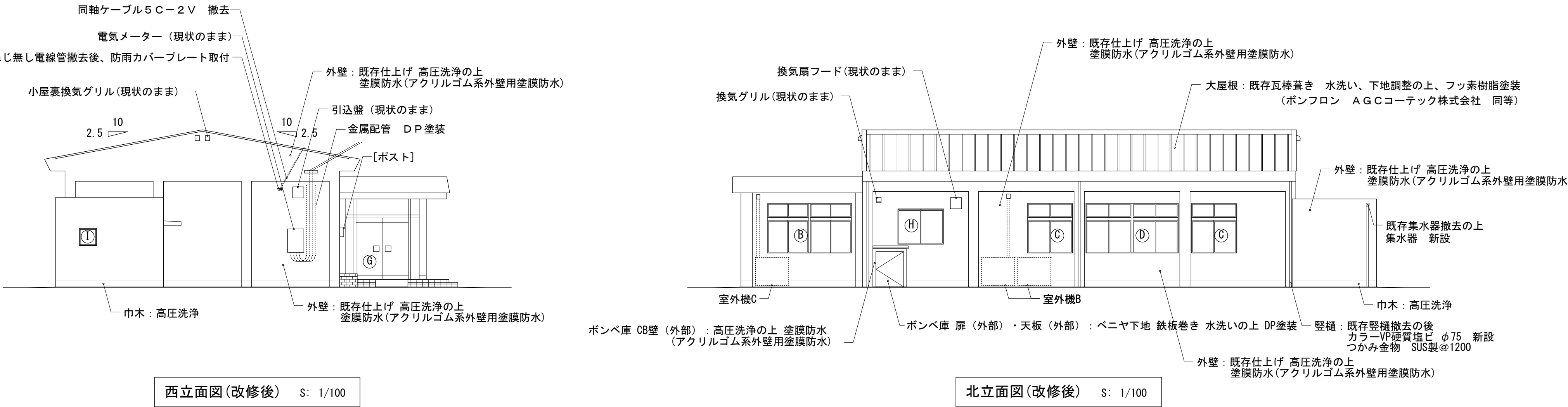
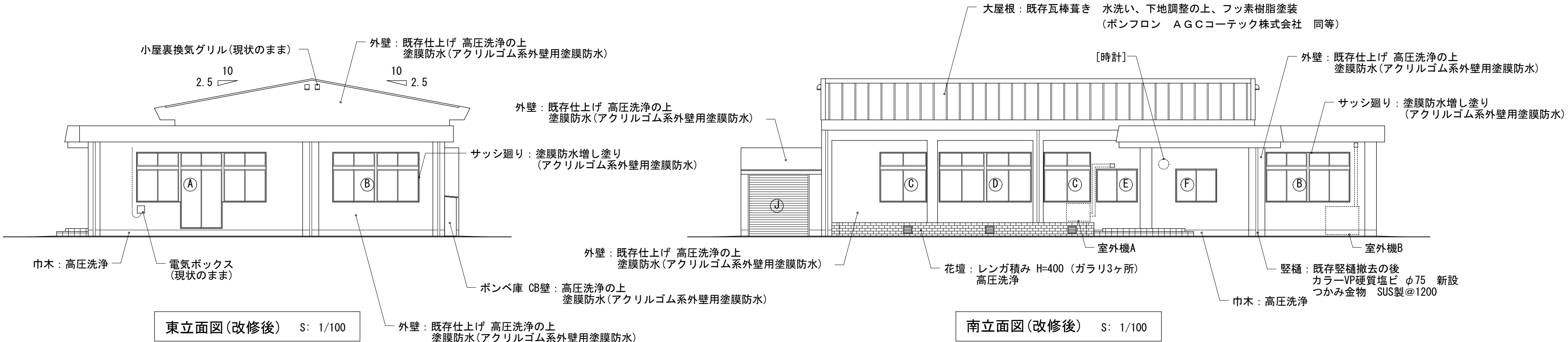
A - 6

S : non



外部仕上									
大屋根	改修 前	瓦棒葺き 鉄板 SOP + アスファルトフェルト 20kg + コンパネ t=12	下屋根 笠木	改修 前	アルミ笠木 W=200	巾木		既存モルタル金コテ仕上げ H=200 高圧洗浄	
	改修 後	既存瓦棒葺き 水洗い、下地調整の上、フッ素樹脂防錆防食塗装（ボンフロン AGCコーテック株式会社 同等）	（増築部）	改修 後	既存笠木撤去の上 アルミ笠木 W=200 新設	軒天	改修 前	アクリルリシン吹付け 大平板 t=6 下地	
大屋根 軒樋	改修 前	防水モルタル金コテ仕上げ コンクリート下地	下屋根 庇・軒天（倉庫上部）	改修 前	防水モルタル金コテ仕上げ コンクリート下地		改修 後	既存仕上げの上 複層塗材CE 水系フッ素 + シーリング打替え	
	改修 後	既存防水層 高圧洗浄 ウレタン塗膜防水（X-2）		改修 後	既存仕上げ 高圧洗浄の上 塗膜防水（アクリルゴム系外壁用塗膜防水）		改修 前	アルミスパンドレル 木製下地（廻り縁：SUS曲げ加工）	
大屋根 笠木（軒樋）	改修 前	防水モルタル金コテ仕上げ コンクリート下地	下屋根 笠木（倉庫上部）	改修 前	防水モルタル 金コテ仕上げ		室外機	改修 後	アルミスパンドレル新設 下地・アルミ製廻縁共
	改修 後	既存防水層 高圧洗浄 ウレタン塗膜防水（X-2） 施工の上 塗膜防水（アクリルゴム系外壁用塗膜防水）		改修 後	アルミ笠木 W=200 新設			室外機・配管ラッキングは一時移動の後、復旧	
下屋根	改修 前	ゴムシート防水 シルバー仕上 均しモルタル下地	縦樋	改修 前	VP硬質塩ビ SOP塗装 φ75	ボンベ庫	天板・扉	ベニヤ下地 鉄板巻き DP塗り替え	
	改修 後（増築部上部平場）	既存ゴムシート防水 高圧洗浄の上 合成高分子系ルーフィングシート防水（S-M2）機械的固定工法		改修 後	既存縦樋撤去の上 カラーVP硬質塩ビ φ75 新設 つかみ金物SUS製φ1200共		CB壁	高圧洗浄の上 塗膜防水（アクリルゴム系外壁用塗膜防水） 浮き・クラック補修共	
	改修 後（倉庫上部平場）	既存ゴムシート防水 高圧洗浄の上 合成高分子系ルーフィングシート防水（S-M2）機械的固定工法	外壁	改修 前	モルタル塗りの上 アクリルリシン吹付け（コンクリート下地 / CB下地）	スチール門扉		片引き L=3,000 DP塗り替え	
	改修 後（増築部・倉庫上部立上り）	既存ゴムシート防水撤去 + 高圧洗浄の上 合成高分子系ルーフィングシート防水（S-F2）接着工法 既存アルミ押え撤去の上 アルミ押え新設			モルタル塗りの上 アクリルリシン吹付け（メタルラス + 軽量鉄骨下地）		RC門塀 H=1,400 H=1,180	道路側・天端	2丁タイル貼り 高圧洗浄
	改修 後	増築部屋上平場：脱気筒2ヶ所設置・倉庫屋上平場：脱気筒1ヶ所設置		改修 後	既存仕上げ 高圧洗浄の上 塗膜防水（アクリルゴム系外壁用塗膜防水） 浮き・クラック補修共	花壇	建物側	既存仕上げ 高圧洗浄の上 複層塗材CE 水系フッ素	
				サッシ廻り	塗膜防水増し塗り（アクリルゴム系外壁用塗膜防水）			レンガ積み H=400（ガラリ3ヶ所） 高圧洗浄	
			サッシ下端	シーリング打ち替え（MS-2）					
内部仕上 アンダーラインは、石綿含有建材を示す									
	室 名	床	巾 木	壁		天 井		備 考	
調理実習室	改修 前	ビニル床シート t=2.5	木製巾木 EP-G H=100	石膏ボード t=9.5 の上 化粧ケイカル板 t=6.0（鋼製下地）		モルタル金コテ仕上げ EP（RC下地）		化粧石膏ボード t=9.5（鋼製下地）	
	改修 後	既設仕上げ撤去の上 ビニル床シート t=2.5 張り替え	現状のまま	現状のまま		現状のまま		現状のまま	
和室	改修 前	板張り	木製 畳寄せ	内装薄塗材E 吹付け		木製 柱・落し掛け・窓枠・長押		杉桟合板敷目板貼（木製下地）	
	改修 後	現状のまま	現状のまま	既設仕上げ撤去の上、 内装薄塗材E 吹付け 砂壁状じゅうらく仕上げ		現状のまま		現状のまま	
アル テ ッ ク 設 計			一級建築士 第177266号	原 図	津市雲出市民館改修工事		配置図・付近見取図 ・仕上表・仮設計画図		A - 7
津 市 大 谷 町 2 3 3 番 地 TEL 059-225-1602			伊 藤 公 智						S： 1/200





※ []は一時撤去 + 再取付とする。

	サッシ寸法		サッシ寸法
A	1,570×1,700×2 + 1,500×2,600	F	1,400×1,000
B×3	2,870×1,700	G	2,550×2,700
C×4	1,600×2,000	H	1,700×1,200
D×2	3,200×2,000	I	800×800
E	1,380×1,200	J	2,000×2,000(スチールシャッター)

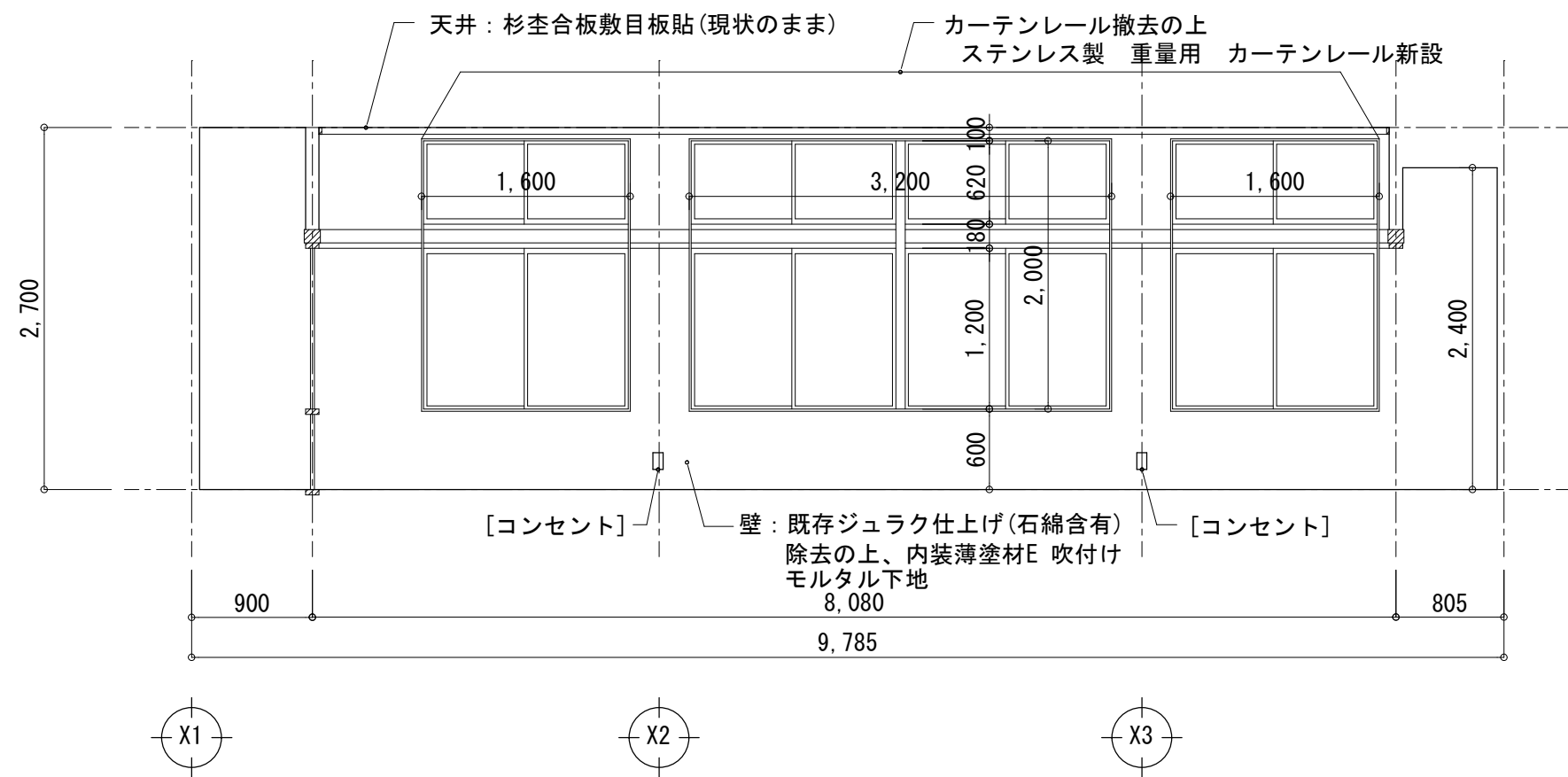
※ サッシ下端のコーキング（MS-2）は、打替えとする。
※ 外壁改修時は、開口部を養生すること。

	品 番	冷房 / 暖房能力	台 数
室外機A	CU-V222A	2.2kW / 3.2kW	1
室外機B	PUZ-ERP80HA11	7.1kW / 8.0kW	3
室外機C	PUZ-ERP45KA5	4.0kW / 4.5kW	1

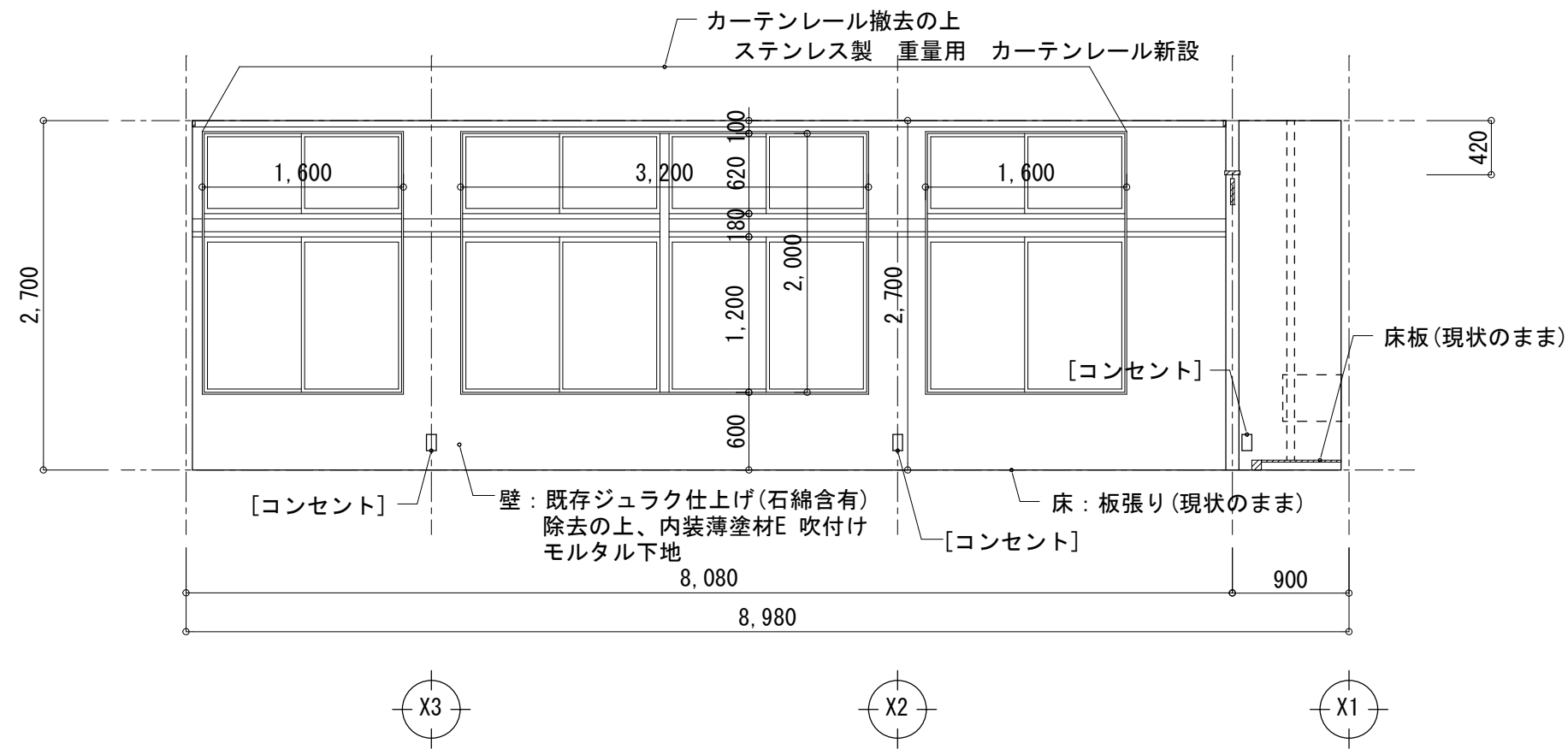
※ 室外機は配管延長し、 取外し再取付とする。
※ 冷媒管外装（スリムダクト）は撤去、新設とする。
※ 空調機器は配管延長時を除き、常時使用可能とする。

改修方法
（ひび割れ） 下地挙動緩衝材塗り
（浮き） アンカーピンング部分エポキシ樹脂注入工法 （16本／㎡、25mm／穴）

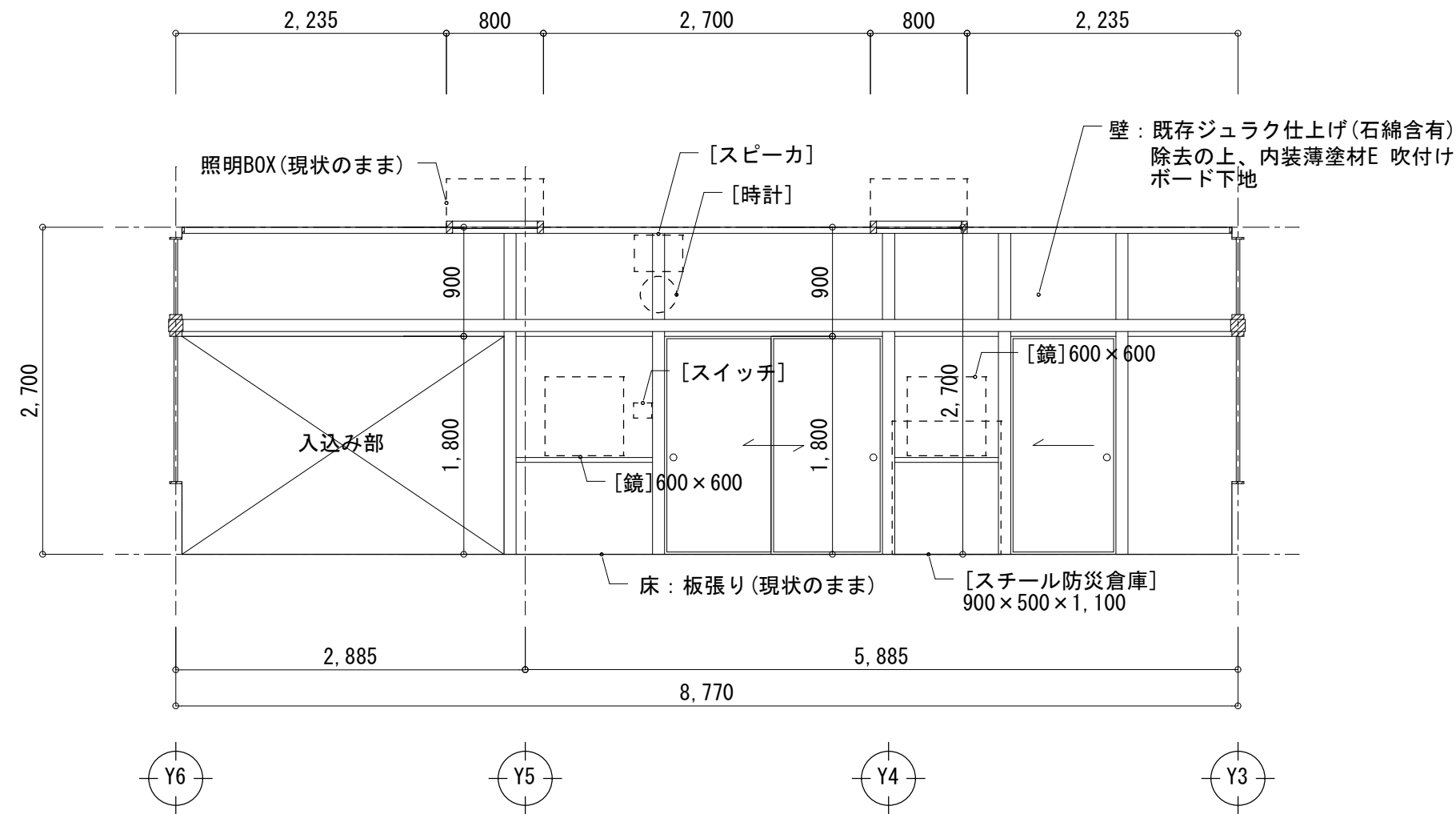
※施工前調査を全面行い、監督員と協議の上施工数量を定める



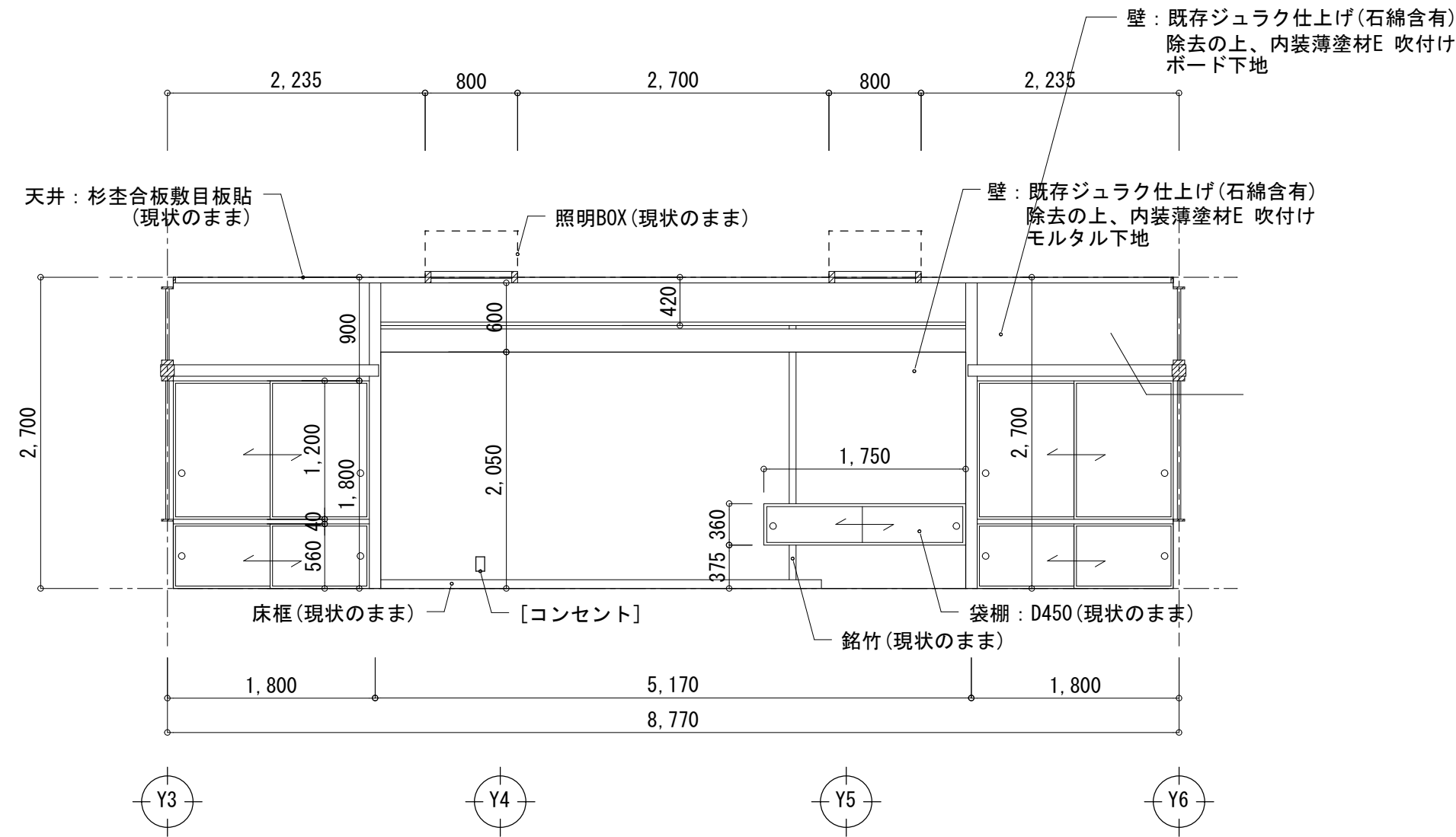
和室・押入 A S: 1/50



和室 C S: 1/50



和室 B S: 1/50

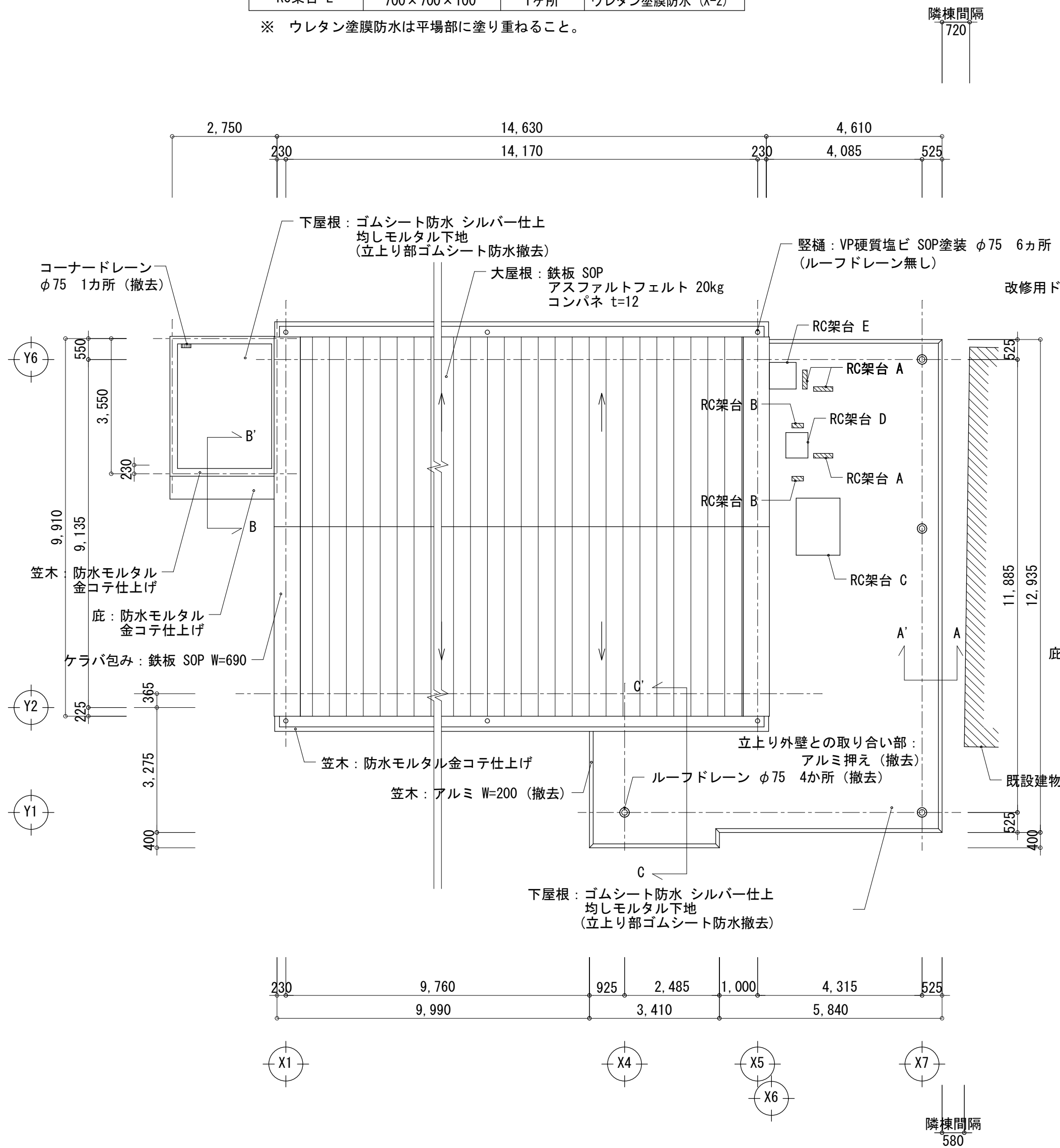


和室 D S: 1/50

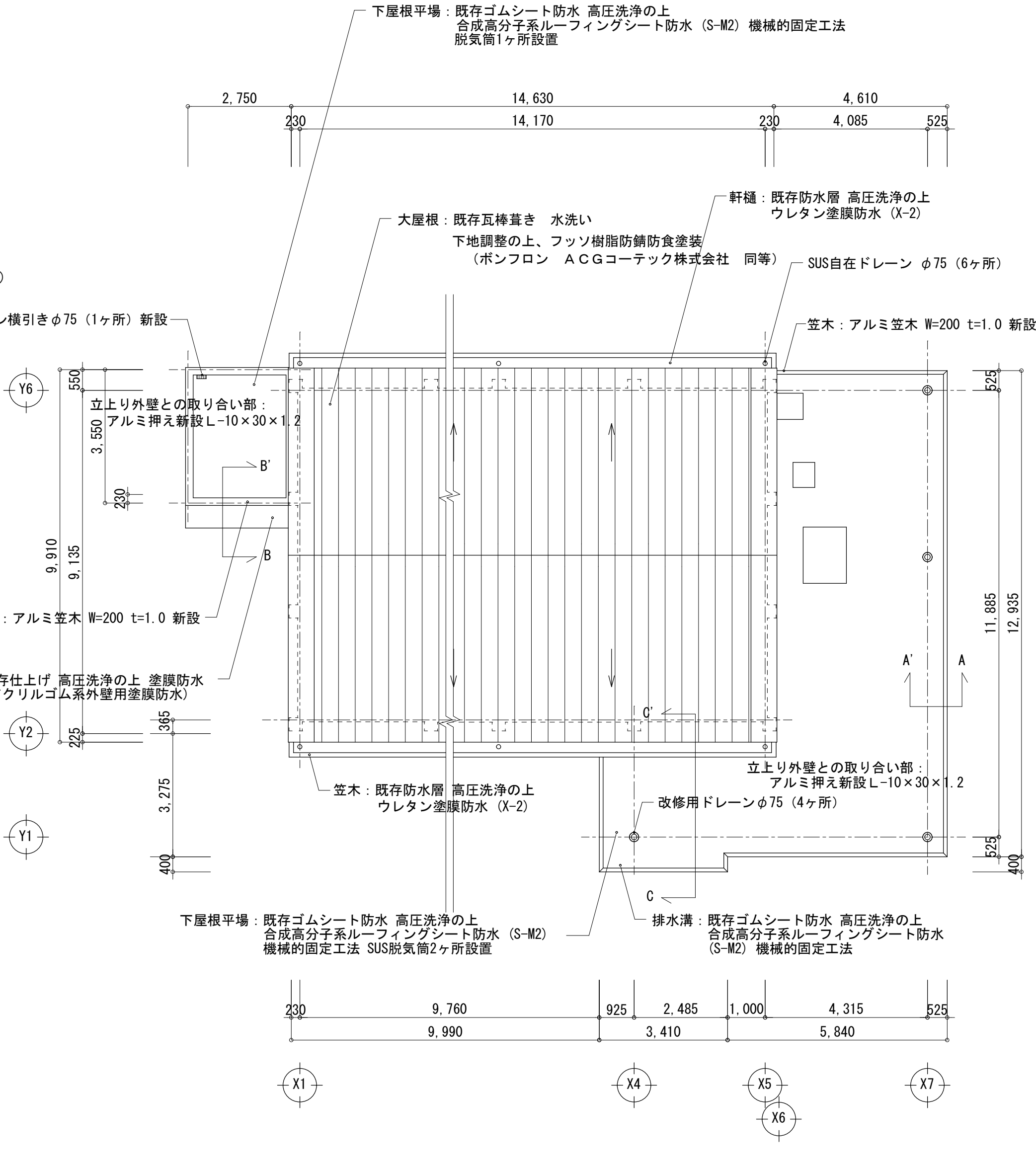
※ []は一時撤去 + 再取付とする。
※ 既設ジュラク仕上げ（石綿含有）は、剥離材併用手工具ケレン工法にて除去を行う。

架台寸法	W×D×H	数	概要
RC架台 A	550×160×100	3ヶ所	撤去
RC架台 B	300×120×100	2ヶ所	撤去
RC架台 C	1,500×1,150×100	1ヶ所	ウレタン塗膜防水 (X-2)
RC架台 D	670×580×100	1ヶ所	ウレタン塗膜防水 (X-2)
RC架台 E	700×700×100	1ヶ所	ウレタン塗膜防水 (X-2)

※ ウレタン塗膜防水は平場部に塗り重ねること。



屋根伏図(改修前) S: 1/100



屋根伏図(改修後) S: 1/100

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

原図

A 2

・既存仕上げ、脆弱部除去の上、改修を行うこと。

津市雲出市民館改修工事

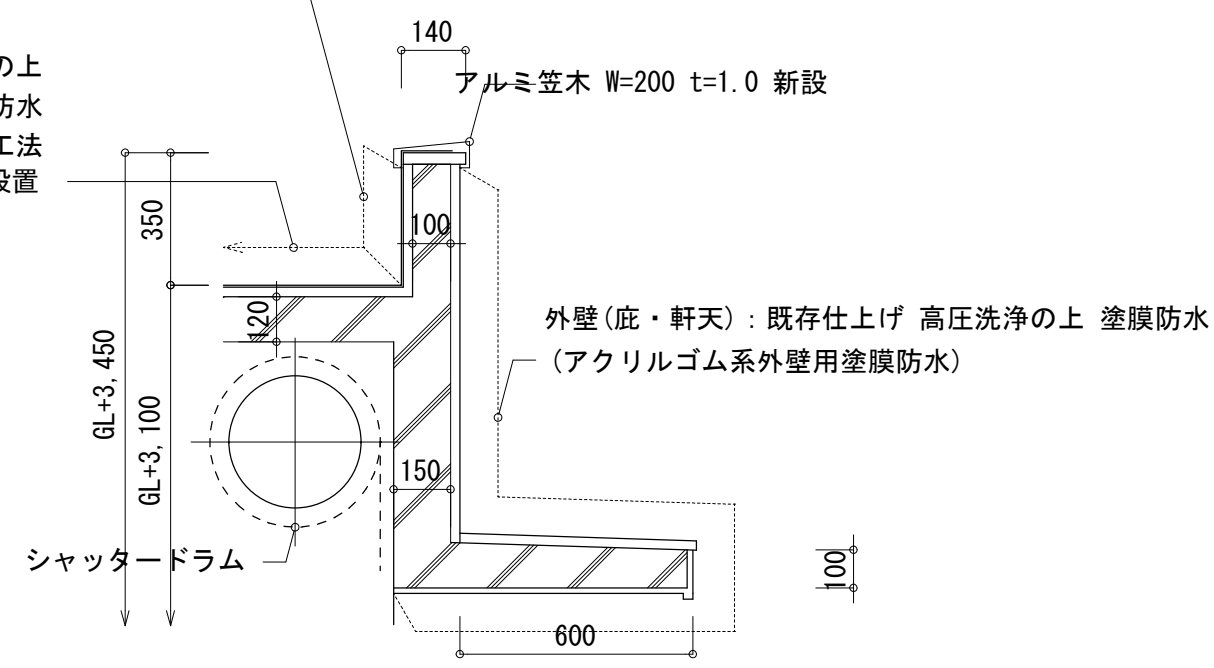
屋根伏図

A - 11

S: 1/100

下屋根立上り：既存ゴムシート防水撤去 + 高圧洗浄の上
合成高分子系ルーフィングシート防水（S-F2）接着工法

下屋根平場：既存ゴムシート防水 高圧洗浄の上
合成高分子系ルーフィングシート防水
（S-M2）機械的固定工法
SUS脱気筒 1 ヲ所設置

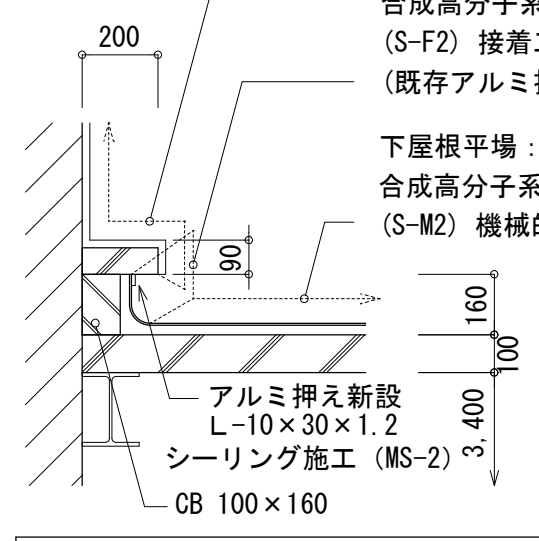


倉庫上部：笠木・庇 断面詳細図(B-B') S: 1/20

外壁：既存仕上げ 高圧洗浄の上
塗膜防水(アクリルゴム系外壁用塗膜防水)

立上り：既存ゴムシート防水撤去 + 高圧洗浄の上
合成高分子系ルーフィングシート防水
（S-F2）接着工法
（既存アルミ押え撤去の上 アルミ押え新設）

下屋根平場：既存ゴムシート防水 高圧洗浄の上
合成高分子系ルーフィングシート防水
（S-M2）機械的固定工法



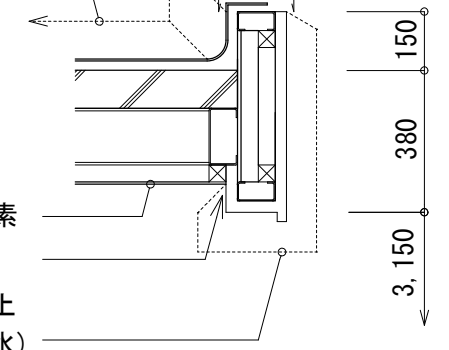
X1, X5, Y2 屋根取り合い詳細図 S: 1/20

下屋根立上り：既存ゴムシート防水撤去 + 高圧洗浄の上
合成高分子系ルーフィングシート防水（S-F2）接着工法
下屋根平場：既存ゴムシート防水 高圧洗浄の上
合成高分子系ルーフィングシート防水
（S-M2）機械的固定工法

既存仕上げの上 複層塗材CE 水系フッ素
シーリング打替え（MS-2）

外壁・軒天：既存仕上げ 高圧洗浄の上
塗膜防水(アクリルゴム系外壁用塗膜防水)

既存笠木撤去の上
アルミ笠木 W=200 t=1.0 新設



増築部上部：笠木 断面詳細図(A-A') S: 1/20

大屋根：既存瓦棒葺き 水洗い、下地調整の上、フッソ樹脂防錆防食塗装
（ボンフロン A G Cコーテック株式会社 同等）

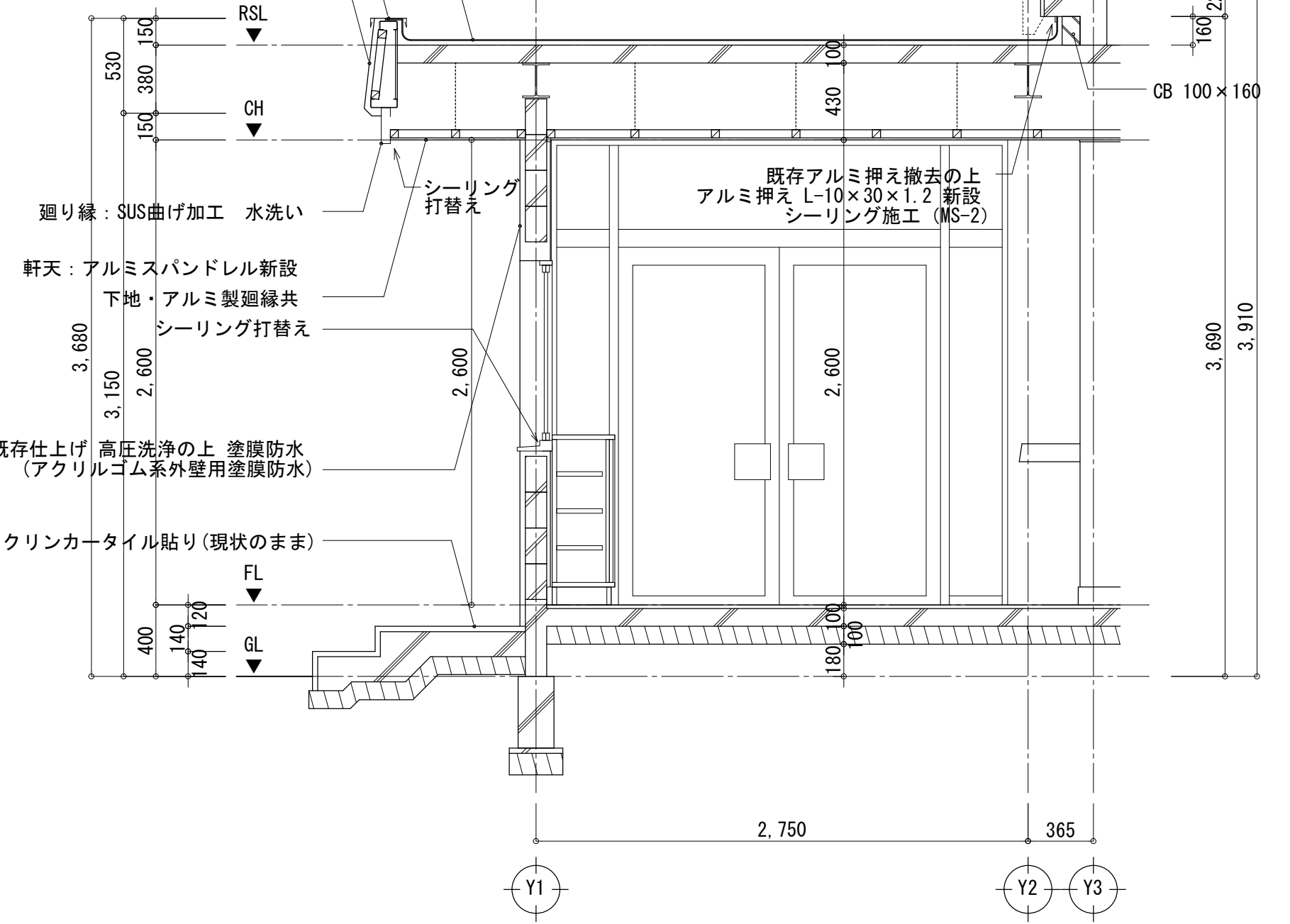
軒樋：既存防水層 高圧洗浄の上
ウレタン塗膜防水（X-2）

笠木：既存防水層高圧洗浄
ウレタン塗膜防水（X-2） 施工の上
塗膜防水(アクリルゴム系外壁用塗膜防水)

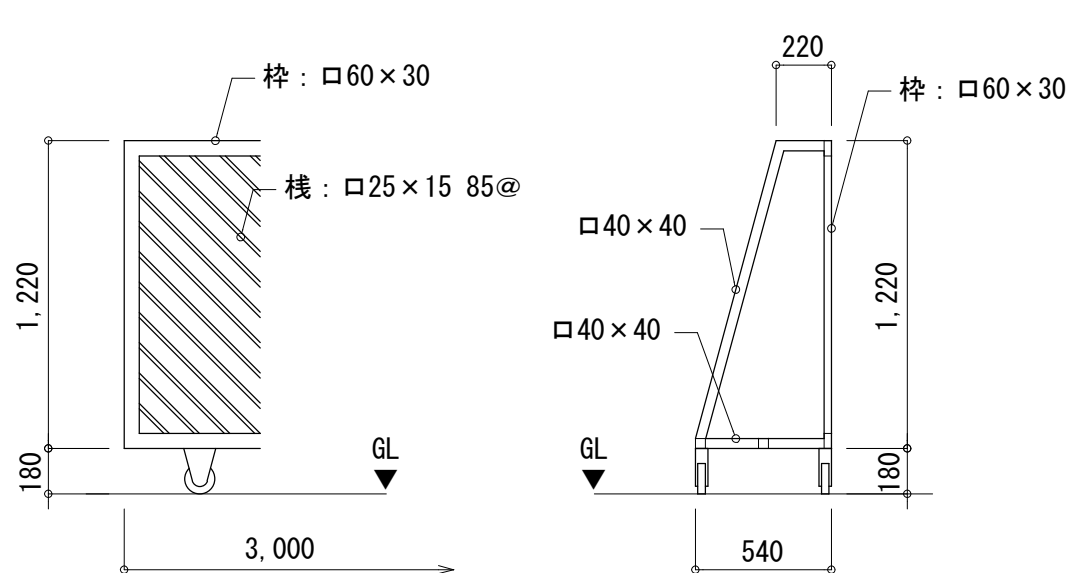
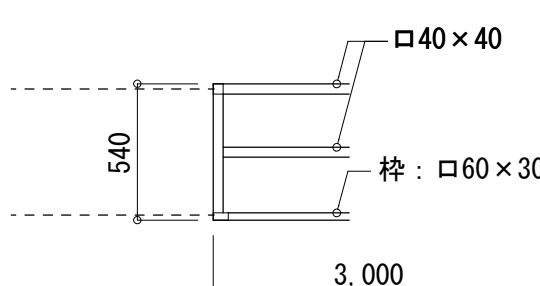
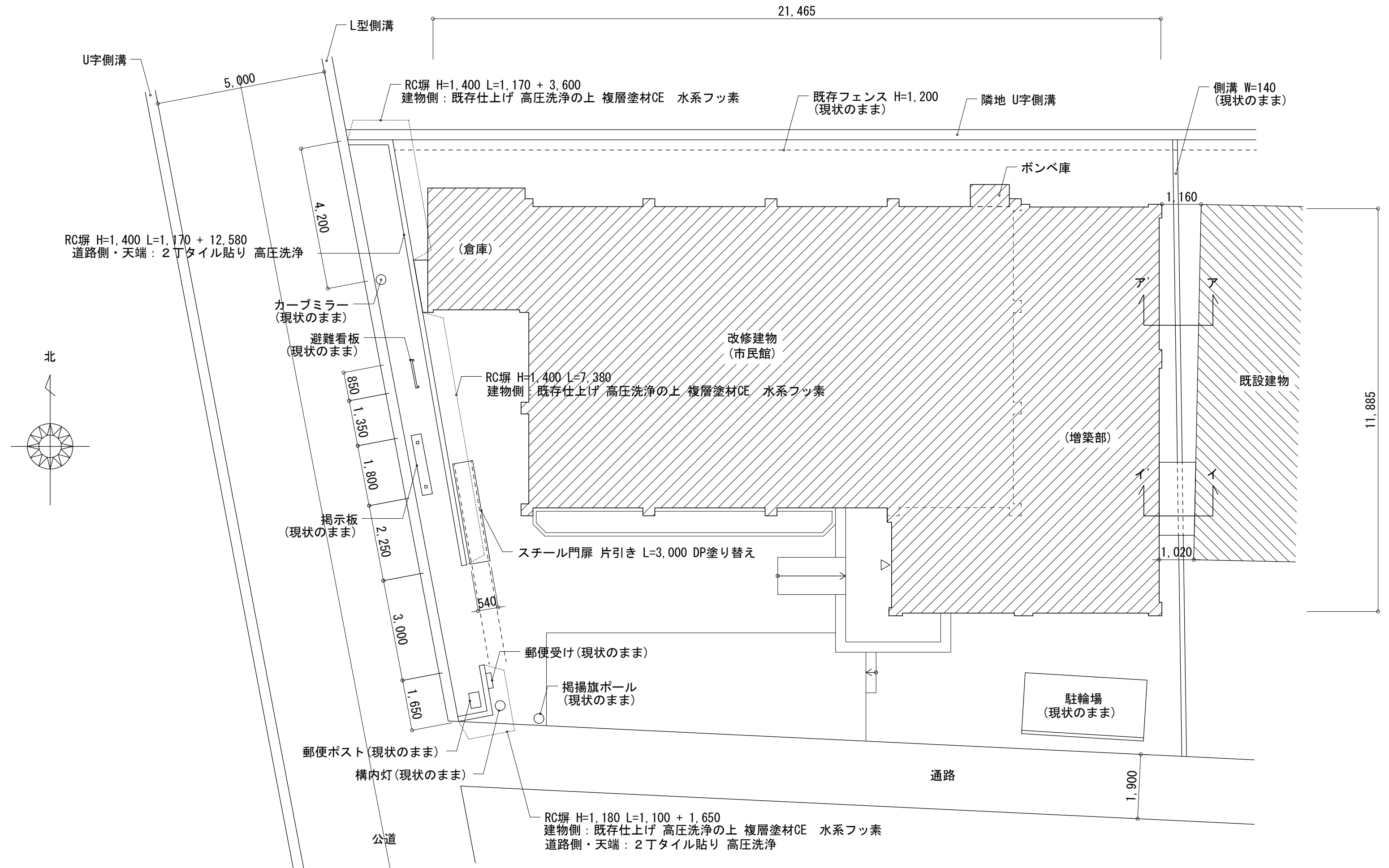
笠木：既存アルミ笠木 W=200 撤去の上
アルミ笠木 W=200 t=1.0 新設

外壁：既存仕上げ 高圧洗浄の上
塗膜防水（アクリルゴム系外壁用塗膜防水）

外壁：既存仕上げ 高圧洗浄の上
塗膜防水(アクリルゴム系外壁用塗膜防水)

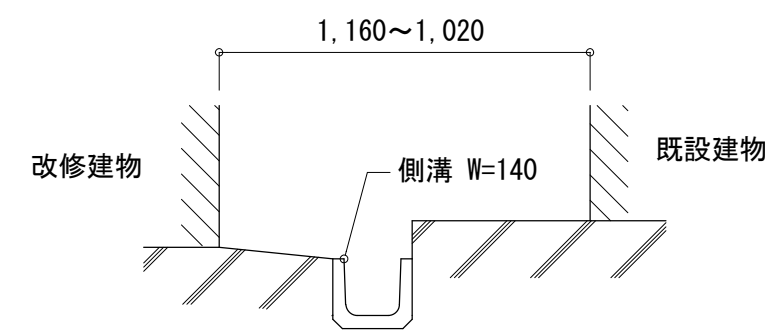


断面詳細図(C-C') S: 1/30

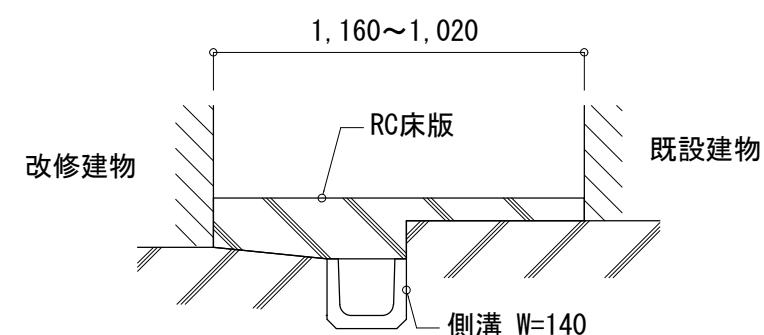


スチール門扉 詳細図 S: 1/30

外構図 S: 1/100



隣棟間断面図(A-A') S: 1/20



隣棟間断面図(I-I') S: 1/20